



# 喜多方ロータリークラブ第26回（通算3229回）例会

日 時：令和3年1月19日（火）12：30

場 所：商工会議所 大ホール

お 食 事：ふるさと振興 お弁当（テイクアウト）

会場監督：中野 博正

◎開会点鐘

佐藤 正道会長

◎ロータリーソング

☆第3週 手に手つないで

◎四つのテストの唱和

◎お客様紹介

伊藤 二郎副会長

～本日はいらっしゃいません～

◎会長挨拶

佐藤 正道会長

◎幹事報告（来信・お知らせ）瀬野 勝治幹事

- ・ガバナー事務所より、2023-24年度ガバナー選出の件  
後期地区委員会総会 Zoom での開催のご案内  
クラブ例会開催状況報告のお願い 接手
- ・RI 日本事務局より、下期人頭分担金納入のお願い 接手
- ・米山記念奨学会より、下期普通寄付金のお願い 接手
- ・会津若松 RC より、クラブ会報・1月例会休会のお知らせ 接手

◎会員スピーチ

瀬野 勝治 幹事

「思い出のクルマ」

◎委員会報告

◎ニコニコBOX

◎出席報告

◎閉会点鐘



【佐藤正道会長挨拶】福島県では、去る12日に1月13日から2月7日までの間、緊急事態宣言の対象となっている1都3県を始めとした感染拡大地域との不要不急の往来自粛、また、県内においても、不要不急の外出自粛、特に、午後8時以降の外出自粛要請がありました。

さらに、接待を伴う飲食店及び酒類を提供する飲食店等に対し、1月15日から2月7日までの間、午後8時から午前5時までの時短営業の要請がありました。そして14

日に市内で感染者が確認されたことから、喜多方市からも、県に準じた自粛依頼がなされました。市内では2日連続で計4名の感染者が報告されています。

この状況下で、例会を休会にするクラブもあるようですが、福島県には緊急事態宣言が発令されておらず、ロータリーの例会は不要不急の会合ではないと思いますので、本日はクラブのガイドラインに則り、例会を開催しております。食事はテイクアウトにてお持ち帰りいただきますのでよろしくお願いいたします。

この度例会の開催にあたって、緊急事態宣言の内容をよく読み返してみると、根本的な矛盾が見えてきます。基本的な考え方に、「今回の緊急事態宣言は、社会経済活動を幅広く止めるのではなく、感染リスクの高い場面に絞って、効果的・重点的な対策を徹底します。」となっていますが、出勤や通院、散歩など、生活や健康の維持に必要な外出・移動以外は不要不急の外出・移動として自粛の徹底を促しています。この範囲内では、社会経済活動を止めるのに等しく、矛盾を感じます。さらに、不特定多数が集まるようなイベントの開催に際し特別な対応を講ずることや、カラオケボックスなどへの営業時間の短縮を求めています。生活や健康の維持以外での外出を制限しておきながら、制限をかけながら感染リスクの高い遊戯施設の営業を認めています。これでは、蛇の生殺し状態です。また、時短要請に伴う協力金ですが、直接的な飲食店にのみ定額支給であることにも違和感を覚えます。

今まで指摘されていた制度の歪みを是正することなく繰り返す国の姿勢に疑問を抱きます。

制度と言えば、ロータリーには3年に一度規定審議会が開催され、規約の変更がなされています。直近では昨年度2019年に開催され、大きく定款等が変更されました。詳しい内容が、ロータリーの友やマイロータリーには掲載されていますが、ご存知でない方もおられますので、改めて説明させていただきます。

まず、「欠席のメイクアップに関する規定を改正する件」ですが、以前は例会欠席のメークアップは例会の前後2週間と規定されていましたが、年度内に変更されました。

次に「クラブの構成を改正し職業分類の制限を廃止する件」ですが、実質的に職業分類を廃止して、いかなる人でもロータリアンになることを可能にするというものです。

次に「事務総長は国際ロータリーの最高経営責任者であると規定する件」。事務総長の肩書きを最高執行責任者(COO)から最高経営責任者(CEO)になりました。これには異論が多く出されたようですが、決議されました。

そして、最も大きな変更は、「ローターアクトクラブがRI加盟を求められることを明確にする件」で、ローターアクトクラブが国際ロータリーの加盟クラブに含まれることになったことです。これによりロータリー章典が以下のように変更になりました。

- ローターアクトクラブは、スポンサークラブの有無に関わらず新しいクラブを設立できるようになる。
- ローターアクトクラブは、ほかのローターアクトクラブをスポンサークラブとして選ぶことができるようになる。
- ローターアクトクラブには、18歳以上のすべての若い成人が入会できるようになる。
- ローターアクトに関する方針は、第5章「プログラム」の部分から移され、改訂後の第2章「クラブ」の部分に記載される。
- ローターアクトに関する方針は、第5章「プログラム」の部分から移され、改訂後の第2章「クラブ」の部分に記載される。
- すべての地区委員会にローターアクターを加えることがロータリー地区に奨励される。

つまりは、ローターアクトクラブがロータリークラブと同等の身分、活動ができるというものです。それに伴い、前項にありますように、ローターアクトクラブが青少年奉仕プログラムから除外されました。

ホルガー・クナーク RI 会長は、ロータリー発祥の地域や、高齢化が進む地域で、ロータリーは衰退し高齢化している現状に、変化を求めています。新クラブの設計者は、若い人たちであるべきだとも言っています。今後国際ロータリーは、若者や女性に広く開かれた組織づくりを進めていくでしょう。時代の変化に乗り遅れないためにも、当クラブも戦略計画を立て運営していかなければいけないと思います。

皮肉なもので、ロータリーの流れとは裏腹に、ロータリー発祥の地アメリカの大統領に歴代最高齢のジョー・バイデン氏が就任したことは、時代の逆行なのでしょうか。時代の変化に乗り遅れているのでしょうか。